

認定特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク 2016年度(平成28年度) 事業報告書

I. 事業実施の方針

- ①組織・財政の基盤強化をする。
- ②アレルギー大学事業および栄養士派遣事業を基盤事業として発展させる。

II. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 情報の普及・啓発・交流事業

各地で行われる「会」の交流会、講演会、ホームページ、メルマガなどを通してアレルギーに関する科学的知識の普及啓発及び交流を行う。

1) アレルギーの会支援事業

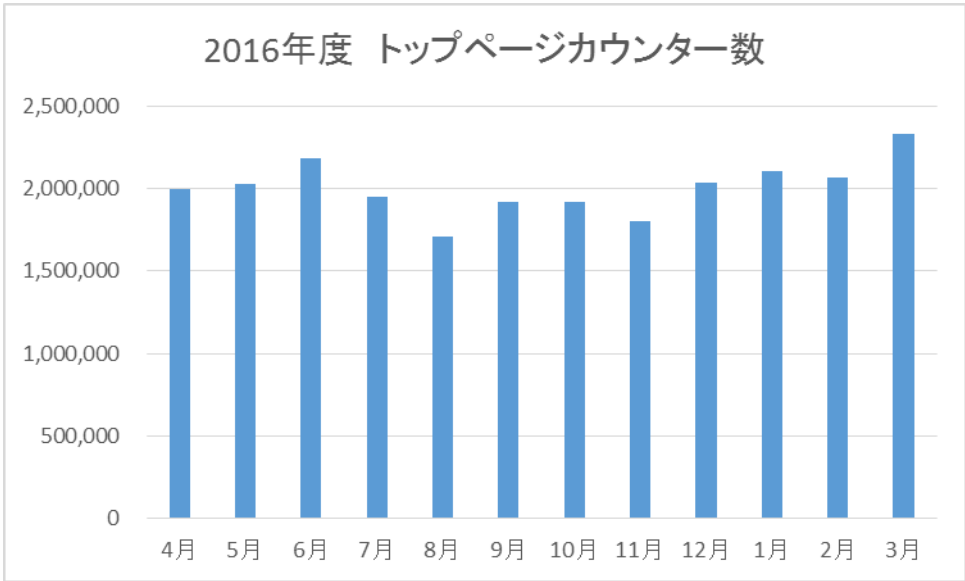
①会の設立と活動を支援する事業

事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健所・保健センターなど地域の保健機関と連携をして、既存の会の活動支援と、要望の強い地域があれば会の新規設立支援をする。名古屋市内の患者会については、各区の保健所と連携した支援ができるよう働きかけを強化する。 2. 「名古屋市内連絡会」を発展させ、「小中学生をもつ親の会」を定期的で開催(年3-4回)し、給食問題などアレルギー施策の向上をめざし、各地の患者会が自治体に要望を出せるように支援する。 3. 各会が運営資金を得ることができるよう、小口の助成金収入と物品販売活動を通して会の収入が増えるよう援助する。 4. 「東海アレルギー連絡会」の事務局として、大規模災害に備えた広域的な連携をおこなう組織に発展できるようサポートする。
結果	<p>東海地域にある 40 団体中 29団体に、のべ 120 回の活動支援をした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自治体と連携をして、「掛川市」「半田市」の患者会設立の支援をした。 子育てNPO団体と連携をして、岐阜県内の患者会のない地域「岐阜市」「山県市」に患者会設立の支援をした。 2. 小中学生の子どもをもつ親の会を開催した。 5/25(名古屋市). 7/6(名古屋市). 10/5(南生協病院). 10/26(刈谷市). 2/15(南生協病院) 3. 患者会の共同購入による活動助成金 4団体に対して 519円の還元金 4. 東海アレルギー連絡会の事務局として、3回の交流会を開催し、助成金事業を実施した。 7/30(総会&RSYの熊本支援報告・南海トラフ対策講演会に参加) 12/4(各会よりアレルギーっ子の災害対策啓発活動・防災訓練参加報告) 3/25(真如苑・助成事業報告会&勉強会「1歳からの防災教育～親子で学ぶ防災・減災～」) 「真如苑/市民防災・減災活動助成金(50万円)事業」 テーマ「東海地域のアレルギーの会と各地の災害ボランティア団体・防災課をつなぐ事業」1/21(土)春日井市、1/22(日)刈谷市、1/29(日)瀬戸市、3/11(土)東海市 において、「みんなで学ぼう災害の備え～アレルギー疾患を持つ親子の災害対策～」(ミニシンポジウム)を開催した。 アレルギー専門医・防災課・防災ボランティア・社会福祉協議会・保健センター、赤十字奉仕団などに参加を要請し、現状報告と情報交換をおこなった。支援ネットからは、地域の関係機関において、アレルギーの理解が進むよう中間支援の立場で、アレルギー疾患を持つ子どもの災害対策について提案をした。 <p>その他、給食センターとの懇談会に同席した。 アレルギーっ子の会in瀬戸7/21、東郷アレルギーの会7/7、岡崎アレルギーの会11/21</p>

② スタッフ、リーダー育成事業

事業内容	アレルギーの会を支えるリーダーのスキルアップを図るため、アレルギー大学基礎・初級以上に参加するリーダー（各会3人以内/年）の資料代などを免除し、中級以上の受講については交通費も補填する。又、スタッフもスキルアップをはかるため、学会や研究会に参加をする。
結果	「リーダー養成講座」として、アレルギー大学を 4団体のリーダー4人が受講した。 小牧市の会、豊橋の会、名古屋南部の会、守山の会 全講座終了後、感想文の提出をもって、受講費の返金と交通費を支給した。 合計 受講費 98,000 円、交通費 15,820 円

2) ホームページ・メールマガジンによるWeb情報の提供

事業内容	<ol style="list-style-type: none"> HP の情報の追加と更新をタイムリーに行う。 法人会員中心に広告の募集をする。 facebook、gooddo（ソーシャルグッドプラットフォーム）に定期的に活動報告をする。 																										
結果	<p>【HP閲覧状況】年間閲覧総数： 24,076,681（4月～3月合計数）</p>  <table border="1"> <caption>2016年度 トップページカウンター数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>閲覧数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>2,000,000</td></tr> <tr><td>5月</td><td>2,000,000</td></tr> <tr><td>6月</td><td>2,200,000</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1,950,000</td></tr> <tr><td>8月</td><td>1,700,000</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1,900,000</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1,900,000</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1,800,000</td></tr> <tr><td>12月</td><td>2,050,000</td></tr> <tr><td>1月</td><td>2,100,000</td></tr> <tr><td>2月</td><td>2,050,000</td></tr> <tr><td>3月</td><td>2,300,000</td></tr> </tbody> </table> <p>【メルマガ登録者数】1,858名（内 PC用：1,193名 携帯用：665名） <新規登録>PC用：183件 携帯用：257件</p> <p>【gooddo（ソーシャルグッドプラットフォーム）】（3ヶ月に入金） 広告協賛費としての収入 31,773 円</p> <p>【GIVEONE】オンライン寄付サイト（カード決済の為2ヶ月後の入金） 「アレルギーっ子の防災・救援ネットワークシステム」4月～1月 69,490円（手数料10,400円含む） 「東海地域にアレルギーを持つ親子を支えるサロンを」4月～1月 15,655 円（手数料1,800円含む）</p> <p>【東海ろうきんNPO 寄付システム】毎月1回100円～500円単位の寄付。 16名が登録。4月～3月 26,700 円</p>	月	閲覧数	4月	2,000,000	5月	2,000,000	6月	2,200,000	7月	1,950,000	8月	1,700,000	9月	1,900,000	10月	1,900,000	11月	1,800,000	12月	2,050,000	1月	2,100,000	2月	2,050,000	3月	2,300,000
月	閲覧数																										
4月	2,000,000																										
5月	2,000,000																										
6月	2,200,000																										
7月	1,950,000																										
8月	1,700,000																										
9月	1,900,000																										
10月	1,900,000																										
11月	1,800,000																										
12月	2,050,000																										
1月	2,100,000																										
2月	2,050,000																										
3月	2,300,000																										

3) 講演会・講習会の開催および講師派遣事業

事業内容	<p>アレルギーなどに関わる科学的知識や実生活に役立つ情報を広げる講演会や講習会を行う。 また、自治体や企業からの依頼に応じ講師を派遣する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器の講習会」（あいち小児保健医療総合センター） 食物アレルギー児の誤食事故の対策として園や学校の教職員などから要望の多い講習会を年に3~4回程度開催する。その他、ニーズに応じたテーマの講座を新規に開講する。 講演会講師の派遣 自治体や企業からの依頼に応じ、アレルギー専門医・管理栄養士など講師の派遣を行う。 アレルギーっ子のフェア開催（2017年3月19日（日）名古屋国際会議場 展示室） 各地の患者会が主催する講演会に協力する。 																																																																																
結果	<ol style="list-style-type: none"> アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器の講習会 <table border="1" data-bbox="271 593 1149 1097"> <thead> <tr> <th>【参加者所属 内訳 人数】</th> <th>4/23（土）</th> <th>5/20（金）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育園</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>6</td> <td>23</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保護者・個人</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>施設</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>教育委員会・市関係</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>病院</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19</td> <td>55</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の講演会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/1（金）「食物アレルギーっ子の入園・入学準備」講習会 120名 マイスター2人・サポーター2人・管理栄養士3人・患者会リーダー13人が研修として参加） ・10/29（土）「経口免疫療法とアドレナリン自己注射器」講習会 94名（大人71名、子ども23名） 内訳：保護者42名、看護師7名、幼稚園7名、管理・栄養士6名、養護教諭6名、保育士2名、 祖父母1名、園長1名、医療関係1名、給食センター1名、教育委員会アレルギー担当1名 ・12/10（土）「食物アレルギーっ子の入園・入学準備」講習会66名（大人53名、子ども13名） 内訳：保護者35名、保育士4名、栄養士3名、看護師3名、市役所職員2名、祖父母2名、 幼稚園2名、医師1名、保健師1名 <ol style="list-style-type: none"> 講演会講師の派遣 <p>【依頼先について 件数】</p> <table border="1" data-bbox="271 1657 933 1848"> <thead> <tr> <th>講師</th> <th>自治体</th> <th>園や学校</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>21</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>23</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p>【テーマについて 件数】</p> <table border="1" data-bbox="271 1926 933 2116"> <thead> <tr> <th>講師</th> <th>アナフィラキシー</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5</td> <td>25</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11</td> <td>26</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> 	【参加者所属 内訳 人数】	4/23（土）	5/20（金）	合計	保育園	4	4	8	幼稚園	0	7	7	小学校	6	23	29	中学校	0	2	2	特別支援学校	1	1	2	保護者・個人	4	6	10	施設	0	2	2	教育委員会・市関係	4	9	13	病院	0	1	1	合計	19	55	74	講師	自治体	園や学校	その他	合計	医師	2	3	2	7	その他	5	4	21	30	合計	7	7	23	37	講師	アナフィラキシー	その他	合計	医師	6	1	7	その他	5	25	30	合計	11	26	37
【参加者所属 内訳 人数】	4/23（土）	5/20（金）	合計																																																																														
保育園	4	4	8																																																																														
幼稚園	0	7	7																																																																														
小学校	6	23	29																																																																														
中学校	0	2	2																																																																														
特別支援学校	1	1	2																																																																														
保護者・個人	4	6	10																																																																														
施設	0	2	2																																																																														
教育委員会・市関係	4	9	13																																																																														
病院	0	1	1																																																																														
合計	19	55	74																																																																														
講師	自治体	園や学校	その他	合計																																																																													
医師	2	3	2	7																																																																													
その他	5	4	21	30																																																																													
合計	7	7	23	37																																																																													
講師	アナフィラキシー	その他	合計																																																																														
医師	6	1	7																																																																														
その他	5	25	30																																																																														
合計	11	26	37																																																																														

	<p>3. 第12期アレルギー大学開講記念講演会&アレルギーっ子のフェア開催 (2017年3月19日(日)) 一部、あいちモリコロ基金助成金により実施した。 名古屋国際会議場 展示室 全体参加数 大人212 + 子ども136 = 465名 3/19(日) 講演会「食べる効果の最新情報」・・・講師 杉浦至郎先生 「おいしい笑顔に出会うまで」・・・講師 榎村春江 体験コーナー・こども企画・展示ブース・スタンプラリー 体験コーナーは、中部小児アレルギーケア研究会(小児アレルギーエドゥケーター)の 協力により実施した。 「食べるということ」(エッセイ集)・学童保育指導員対象「アレルギー対応の手引き」 205冊 無償配布(あいちモリコロ基金助成事業)</p> <p>4. 各地の患者会が主催する講演会に協力(講師派遣・資料展示など) 7/18 長久手の会(過去の震災に学ぶアレルギーっこの災害対策) 6/19 刈谷アレルギーの会(防災ポーチ作り・講師はサポーター) 9/11 ぷちヴェール日進(パッククッキング・講師はサポーター) 9/28 緑区の会(入園入学準備について) 11/23 かけがわこどもアレルギーの会(アレルギーっ子の災害対策) 1/15 ぷちヴェール日進(アレルギーっ子の災害対策)</p>
--	--

4) アレルギー相談事業

事業内容	E-mailや電話による相談 ホームページなどの閲覧者や園や学校などから、Eメールや電話によるアレルギーなどの相談に対して各分野の専門家などによるアドバイス活動を行う。
結果	【E-mail や電話による相談件数】 個人：61件(災害7件、治療11件、給食5件、成人7件、患者会7件、アンケート5件、 寝具4件、講演会3件、物販3件、モニター1件、その他8件) 企業・マスコミ：9件(企業5件、マスコミ3件、病院1件)

5) アレルギー大学修了生(マイスター・サポーターを含む)による地域ミニ講座

事業内容	① マイスターやサポーターがアレルギー大学のDVDを利用し地域でミニ講座を開催する仕組みを構築する。 ② 地域の「会」への支援を行う「サポーター」の育成をはかり、「サポーター」の組織化を図る。 ③ マイスター・サポーター会議を年に2回程度開催し、患者支援に関する取り組みを検討する。
結果	① ミニ講座実施に至らず。 ② 地域の「会」への支援 守山区・天白区・東海市・西尾市・豊橋市・美濃加茂市 ③ マイスター・サポーター会議 1/28 実施 【食物アレルギーマイスター】 第11期より、1名がマイスター審議委員より認定された。

6) アレルギー患者家族支援事業(受託事業)

事業内容	<p>自治体からの受託事業として、アレルギー患者家族の支援を行う。</p> <p>① 名古屋市公害保健課が主催する、自己管理支援教室(小学生ぜん息教室およびぜん息親子教室)において患者家族の交流会を担当する。</p> <p>② 愛知県教育委員会「学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会」の委員を務める。</p>
結果	<p>① 名古屋市公害保健課が主催する、自己管理支援教室(小学生ぜん息教室およびぜん息親子教室)において患者家族の交流会を支援ネットの職員と患者会のリーダーが担当。各日程 4人。 親子：9/25. 2/5 小学生：7/3. 8/11. 10/1. 12/11</p> <p>② 愛知県教育委員会「学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会」の委員を務める。 (伊藤副理事長・中西) 4/25. 7/11. 9/14. 11/21. 12/5</p> <p>③ 名古屋市公害保健課「名古屋市乳幼児アレルギー実態把握等に係る検討会議」の委員を務める。 (伊藤副理事長・二村理事・中西) 9/12 12/13</p> <p>④ 蒲郡市教育委員会「アレルギー対応給食検討委員会」のオブザーバーを務める。 (中西) 5/19. 6/21. 8/17. 9/23. 12/16. 1/31. 3/21</p> <p>⑤ 愛知文教女子短期大学「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業の委員を務める。(中西) 10/19、2/27</p>

7) エッセイ集「食べるということ」(ニッポンハム食の未来財団・助成金事業・100万円)

事業内容	<p>食物アレルギーをテーマに、アレルギー専門医と管理栄養士が中日新聞に連載した2つのエッセイ集「アレルギーの窓から」「味な提言」を完全収録。加えて、急速経口免疫療法に挑戦した中学生が綴った体験記録、経口免疫療法を受けている子どもと家族の体験談を1冊にまとめ、食物アレルギーと共に成長していく子どもや家族の姿を通して、「食べる」ことの意味と、彼らの生きる力を伝えるエッセイ集を制作・配付・出版する。</p>
結果	<p>2000冊を出版(助成金および自己資金)</p> <p>無償配布700冊(食物アレルギーセミナー・あいち/東海小児アレルギー研究会にて医療関係者や専門職などに200冊、ニッポンハム食の未来財団80冊、アレルギーっ子のフェア205冊、その他、編著者・関係者などに配布)</p> <p>アレルギーと向き合う方々に勇気を、子どもたちを見守る方々に理解と共感を与えことに寄与することができた。無償配布終了後は、販売をする。</p>

(2) 専門職の育成支援事業

1) 「アレルギー大学」事業

<p>事業内容</p>	<p>①「アレルギー大学」 愛知、新潟、千葉、京都、沖縄 各会場にて開講する。 千葉会場は、「NPO法人千葉アレルギーネットワーク」、京都は、「NPO法人アレルギーネットワーク 京都 ぴいちゃんねっと」、沖縄は「アレルギー対応沖縄サポートデスク」が独立採算で運営をする。</p> <p>②「アレルギー大学ベーシックプログラム」 栄養士や保育士養成校の学生および一般を対象に、アレルギー大学基礎講座を1日に凝縮して実施し、修了認定証を発行する。</p> <p>③ 第13期アレルギー大学に向けたカリキュラム・テキストの「大改革」 「新カリキュラム策定会議」を新設し、第13期アレルギー大学の講座内容について検討する。 新カリキュラムの骨格を決めた上で、新テキストの編集 についても検討をすすめる。</p>
<p>結果</p>	<p>①「アレルギー大学」 【全体】第11期アレルギー大学の参加者、のべ2902人。 その職種別の内訳は管理栄養士27%（民間施設従事者を含む）、栄養士9%（民間施設従事者を含む）、給食調理員9%（民間施設従事者を含む）、調理師5%（民間施設従事者を含む）、保育士5%、幼稚園教諭0%、教諭（養護教諭を含む）2%、看護師11%、保健師1%、保護者15%、学生3%、その他13%。</p> <p>【愛知会場】参加者、のべ1,732人（基礎・初級講座のべ850人、中級講座のべ403人、上級講座のべ332人、研究・実践講座132人）。その職種別の内訳は管理栄養士31%（民間施設従事者を含む）、栄養士6%（民間施設従事者を含む）、給食調理員11%（民間施設従事者を含む）、調理師6%（民間施設従事者を含む）、保育士6%、幼稚園教諭0%、教諭（養護教諭を含む）2%、看護師11%、保健師1%、保護者16%、学生3%、その他7%。第11期アレルギー大学コース修了生は64人（栄養・調理コース41人、教育・医療コース23人）</p> <p>【新潟会場】参加者、のべ76人。その職種別の内訳は管理栄養士28%（民間施設従事者を含む）、栄養士4%（民間施設従事者を含む）、給食調理員21%（民間施設従事者を含む）、看護師24%、学生7%、その他17%。</p> <p>【千葉会場】参加者、のべ521人（初級講座のべ304人、中級講座のべ98人、上級講座のべ119人）。その職種別の内訳は管理栄養士23%（民間施設従事者を含む）、栄養士17%（民間施設従事者を含む）、給食調理員3%（民間施設従事者を含む）、調理師4%、保育士5%、幼稚園教諭0%、教諭（養護教諭を含む）1%、看護師7%、保健師2%、保護者14%、学生3%、その他22%。</p> <p>【京都会場】参加者、のべ386人、その職種別の内訳は管理栄養士16%（民間施設従事者を含む）、栄養士8%（民間施設従事者を含む）、給食調理員6%（民間施設従事者を含む）、調理師8%、保育士2%、幼稚園教諭1%、教諭（養護教諭を含む）1%、養護教諭4%、看護師12%、保護者17%、その他30%。</p> <p>【沖縄会場】参加者、のべ187人、その職種別の内訳は管理栄養士19%（民間施設従事者を含む）、栄養士25%（民間施設従事者を含む）、給食調理員9%（民間施設従事者を含む）、調理師4%、保育士7%、幼稚園教諭0%、教諭（養護教諭を含む）0%、看護師4%、保健師0%、保護者11%、学生4%、その他15%。第11期アレルギー大学コース修了生は1人</p>

- ◆愛知から千葉への振替1名
- ◆愛知から京都への振替1名
- ◆千葉から愛知への振替2名

【魚国総本社における出張アレルギー大学】

受講生：56名（栄養士：27名、調理師29名） 愛知、静岡、長野

8/27(土) 医学基礎・食育

9/10(土) 離乳食実習

9/24(土) 食品学基礎・食品学Ⅰ・医学Ⅰ・栄養と献立

10/15(土) 初級調理実習

②「アレルギー大学ベーシックプログラム」

【受講者人数】

	静岡 6/12 (日)	新潟 6/26 (日)	岐阜 9/18 (日)	三重 9/25 (日)	愛知 9/4 (日)	合計
一般	137	31	57	24	74	323
学生	3	42	12	19	622	698
合計	140	73	69	43	696	1021

③ 第13期アレルギー大学に向けたカリキュラム・テキストの「大改革」

【アレルギー大学委員会】

第13期アレルギー大学策定会議 7/2

アレルギー大学委員会 8/31、H29.1/19.3/9

2) 「インターネットアレルギー大学」事業

事業内容	第9期アレルギー大学の講座をインターネットで配信する。 今までのパンフレット配布による広報を見直し、HPの掲載方法を再検討し効果的な広報をする。																																																				
結果	<p><インターネットアレルギー大学> 第9期アレルギー大学を配信</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>申込人数 (2016年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初級のみ</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>中級のみ</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>上級のみ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>初級+中級</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>中級+上級</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>初級+中級+上級</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>(2016年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>栄養士</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>患者の家族</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>給食調理員</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>調理師</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>養護教諭</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>知りえた媒体</th> <th>2016年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームページ</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>チラシ・栄養士会</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>チラシ・保育士会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>申込者 82名 うち受講者 65名 受講料 1,710,000 円 レンタルサーバー 306,513 円</p> <p>広報活動2016.1~5 全国の栄養士会・調理師会・保育協議会（アレルギー大学開催県は除く）計120ヶ所へ周知依頼書発送（FAXでの回答書同封）⇒ 16団体より返信（栄養士会10 調理師会1 保育協議会5） その中より無料の団体5か所と有料の団体2か所（東京都と北海道栄養士会）にパンフレット配布の依頼をした。⇒ 有料配布のみ入会あり（東京都 3 北海道 3）。 （同封費用81,470円 入会6人の受講料 153,130円）</p>	コース	申込人数 (2016年度)	初級のみ	26	中級のみ	3	上級のみ	1	初級+中級	3	中級+上級	2	初級+中級+上級	47	合計	82	職種	(2016年度)	管理栄養士	31	栄養士	11	患者の家族	9	看護師	5	給食調理員	2	調理師	1	保育士	5	養護教諭	0	学生	3	その他	15	合計	82	知りえた媒体	2016年度	ホームページ	36	チラシ・栄養士会	21	チラシ・保育士会	2	その他	23	合計	28
コース	申込人数 (2016年度)																																																				
初級のみ	26																																																				
中級のみ	3																																																				
上級のみ	1																																																				
初級+中級	3																																																				
中級+上級	2																																																				
初級+中級+上級	47																																																				
合計	82																																																				
職種	(2016年度)																																																				
管理栄養士	31																																																				
栄養士	11																																																				
患者の家族	9																																																				
看護師	5																																																				
給食調理員	2																																																				
調理師	1																																																				
保育士	5																																																				
養護教諭	0																																																				
学生	3																																																				
その他	15																																																				
合計	82																																																				
知りえた媒体	2016年度																																																				
ホームページ	36																																																				
チラシ・栄養士会	21																																																				
チラシ・保育士会	2																																																				
その他	23																																																				
合計	28																																																				

3) アレルギー教本普及事業

事業内容	保育園・学校などが行うアレルギー給食の担い手である栄養士、調理員、保育士、教員など専門職を対象に、食物アレルギーの手引書「これだけでわかる食物アレルギー～基礎的な知識から専門的な対応まで～」を出版・普及する。
結果	<p>【3月末時点】</p> <p>アレルギー大学<新・旧教本> 784冊（インターネット含む） 物販注文・書店<新・旧教本> 489冊 （インターネット注文、日本小児科学会、日本アレルギー学会、難治喘息学会）</p>

(3) 調査研究事業

1) 自主研究事業

今年度は実施しない。

2) 共同研究事業

① 外食産業調査研究事業（名古屋学芸大学との共同事業）

事業内容	名古屋学芸大学（和泉教授）と協同でおこなった外食産業の実態調査をもとにしたマニュアルを、ホテル・旅館で汎用できる内容にし、HPに掲載。広く一般に活用をしてもらう。
結果	マニュアルを実際に活用して頂いた施設の意見および依頼内容を参考に、加えて、あらたに、民泊の施設にマニュアルを活用していただきマニュアルの改善をすすめた。

② ひやりはっと事例集積研究事業

事業内容	藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院アレルギーセンター・近藤康人教授と協働で、アレルギー疾患に関する「ひやりはっと事例」を常時収集、解析し、教育関連施設事故防止などに役立てていただく。今年度は、「ひやりはっと事例集2016」作成に向けて、事例の収集を行う。（委託事業）
結果	7月末よりアンケート用紙の配布を開始し、東海3県の専門医・関係医療機関、患者会・親の会、アレルギー団体、アレルギー大学等で約1700部配布。同時にインターネットによるアンケートを開始し、11月10日で締切、アンケート回答数は137件と目標を達成する事ができた。

③ 学童保育におけるアレルギー対応の実態調査、および、アレルギー研修の開催と「アレルギー対応の手引き」作成事業（あいちモリコロ基金 平成27年度大規模活動助成金事業（愛知県学童保育連絡協議会との共催事業）・平成27年度～平成29年度3年間事業）

事業内容	① 学童保育施設におけるアレルギー対応状況の実態調査（平成27年度実施済み） ② アレルギー研修会の実施（平成27年度～平成29年度） ③ 「アレルギー対応の手引き」作成（平成28年度）
結果	（あいち学童保育連絡協議会との協働事業） ① 学童保育施設におけるアレルギー対応状況の実態調査（平成27年度実施済み） ② アレルギー研修会の実施（平成27年度～平成29年度） 豊田市 10月4日（火） 10:00-12:00 豊田市福祉センター 会議室 10名 豊橋市 11月15日（火） 10:00-12:00 豊橋市商工会議所 3F ホール 9名 名古屋市 1/24（火） 10:00-12:00 ウィンクあいち 大会議室1002 67名 ③ 「アレルギー対応の手引き」作成（平成28年度） 委員会・・・4/11.5/27.7/8.8/24.9/29.11/15.12/7.2/9 ・3/19 アレルギーっ子のフェアでβ版配布。実際に現場で活用してもらい改訂版を平成29年度に発行予定に変更。

④ 大学間連携共同教育推進事業（名古屋学芸大学との共同事業）

事業内容	「愛知県内教員養成高度化支援システムの構築」事業において、名古屋学芸大学・管理栄養学部・和泉秀彦教授に協力をする。
結果	「食物アレルギー対応DVD」の製作において、昨年度に担当した構成とシナリオの作成をした。（30万円）

3) 受託事業

①臨床研究事業

事業内容	<p>麹菌発酵大豆培養物のアトピー性皮膚炎に対する有用性と安全性に関する研究 (ニチモウバイオティックス株式会社の受託研究事業)</p> <p>ImmuBalanceの機能性表示を目標とした臨床試験。 軽度のアトピー性皮膚炎を有する20歳以上の成人男女50人。(2年間) 試験食品又はプラセボを6か月間摂取して、湿疹の改善効果を検討する。 近藤康人教授(藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院・アレルギーセンター)が受託した研究 に対して、研究協力者として参加する。本研究において、対象者の募集及び受診案内、診察補助員の派遣、データ整理の補助、謝金の支払いなどを担当する。 実施期間・2年間(2016年5月～2018年3月)</p>
結果	実施期間を2017年1月～2019年3月に変更し、事業を開始した。

②グループインタビュー・モニター受託事業

事業内容	患者家族のQOL向上のためのアレルギー関連商品開発に協力する事業として、アレルギー患者家族に対するグループインタビューやモニター調査を受託する。
結果	未実施

③食物アレルギーに関する医学論文(系統的レビュー)をリスト化し、一般向けの要約をつけてWebsite上でその情報を公開する事業

事業内容	臨床研究の結果は患者を含めた一般市民に周知することを目的とする。国内外でこれまでに報告されている食物アレルギーに関する医学論文(系統的レビュー)をリスト化し、一般向けの要約をつけてWebsite上でその情報を引き続き公開する。
結果	2016年3月をもって研究は終了。Web上での情報提供は継続する。

(4) 災害救援及び防災対策事業

1) 災害に備える事業

事業内容	<p>① 各地の患者会が、平常時から自助・共助・公助の仕組みを作っておくためのサポートをする。</p> <p>② 東海アレルギー連絡会の事務局として、防災対策に関する司令塔の役割を果たす。</p> <p>③ 東海アレルギー連絡会と協働して、新規設立の患者会を中心にアレルギーっ子の災害対策のための啓発事業を実施する。(真如苑助成金事業)</p> <p>④ メルマガ登録(安否確認配信ツール)の促進と緊急時のおねがいカードの普及をする。</p>
結果	<p>①会の設立と活動を支援する事業 に掲載済み</p> <p>11/5(土) 松阪市・西尾市 防災訓練に協力 11/12(土) 名古屋市緑区防災フェスタ に協力 11/20(日) 東郷町防災訓練に協力 2/11(土) 防災フェスタ(名古屋市東区)にブース出展 3/12(日) あそぼうさい(名古屋市緑区)にブース出展 メルマガ9/1号で災害対策特集を実施・啓発活動を行った。 緊急時のお願いカード申込み 70件(100枚以上の大口申込み 8件)</p>

2) 災害ボランティアなどの団体と協同する事業

事業内容	震災がつなぐ全国ネットワーク」や東海地域の災害ボランティア団体・NPO と協同し、アレルギー患者家族の要支援対策の必要性を伝え、その具体化をすすめる。
結果	<p>地域の患者会が、自治体や災害ボランティアと協働できるよう支援した。また、防災のイベントに患者会とともに参画した。</p> <p>1. 月に一度の名古屋災害ボランティア連絡会に出席</p> <p>2. こども女性支援ネット東海 設立準備会5/15. 8/27. 9/23. 10/19. 11/27. 1/8. 3/9 12/3(土)午後 シンポジウムを東海市で開催 災害時に母子の命を守るために～熊本地震の教訓から学ぶ～ において「熊本地震から学ぶ」～アレルギー疾患の観点から～をテーマに報告をした。その後、平常時に、こども女性のための支援拠点作りをしておく事業を展開をする。</p> <p>3. 災害時のための市民セクターによる連携強化事業(事務局:NPO法人レスキューストックヤード)に参加した。10/21. 11/17. 12/2. 1/27. 3/20</p>

3) 他地域で発生する大規模災害に備えた救援事業

事業内容	他地域で大規模災害が起きた場合のアレルギー患者の支援については、平常時から他地域団体と災害対策の情報交換および相互支援体制の確立ができるよう啓発活動を行う。他地域で災害が起きた場合は、事務局に災害対策委員会を立ち上げ他団体(災害NPO・小児アレルギー学会・患者会・自治体など)と連携をして支援活動を行う。
結果	熊本地震支援報告(別紙)

(5) 関連用品の販売普及事業

事業内容	<p>① 共同購入物品販売事業 書籍販売を中心として、関連用品のキャンペーンや特別販売を定期的に行う。 各地の患者会に参加し、会の活動支援としての共同購入の仕組みを周知する。</p> <p>② 「ホントに美味しい食物アレルギー攻略法」(仮題) 小冊子普及事業 これまでの集団調理と患者指導の中で蓄積してきたアレルギー対応レシピをベースとして、食物アレルギーの患者や給食担当者が利用できるレシピ集を制作、販売する。除去食レシピだけでなく、除去から解除に向かって利用できるレシピ集とする。 オールカラー 150ページ、1冊2500円、第1刷1000部目標</p>
結果	<p>① 7、8月、2月に寝具のキャンペーンを実施。 攻略本の販売数は 3月末で 1030 冊 (12月に1000冊増刷。)</p> <p>【売上内訳】 寝具…475,844円 書籍…3,515,836円 スキンケア…194,921円 食品…1,869,134円 その他…84,686円 小計…6,140,421円</p> <p>小計より、活動助成金(保育園のお菓子購入額に対して15%もしくは20%を助成と患者会への活動支援金)の230,209円をひいて、合計5,910,212円</p> <p>②未実施</p>

(6) 医療機関への栄養士派遣事業

事業内容	医療機関と委託契約を結び栄養・食事指導及び食物負荷試験の介助を行う。本年度も、従事者育成のため対象者の開拓をし、随時あいち小児保健医療センターアレルギー科での研修を行っていく。また、現在の派遣先で月の契約件数を増やしていく。指導は、アレルギー大学を修了、またはそれに相当する管理栄養士で、非常勤栄養士5名が担当する。
結果	11 医療機関 月1～4回 管理栄養士を派遣した。(常勤栄養士1名・非常勤栄養士4名) 名古屋市内3 医療機関、三重県2 医療機関、愛知県内6 医療機関、岐阜県内3 医療機関。 指導を行う管理栄養士は、あいち小児研修・栄養士委員会毎月1回に参加した。 11 医療施設で306 回/年 指導を実施した。 3/12 (日) 栄養士派遣運営会議 (医療機関7・派遣管理栄養士6・事務局責任者スタッフ4)

2. その他の事業に係る事業

- (1) ベットマットの販売事業は従来どおりアレルギーの分野のみとし、その他の事業は行わない。
- (2) 愛知県職員の「2年目現場体験研修(NPO)」受け入れの協力(7年次目)

事業内容	愛知県に入職して2年目となる職員の「NPO活動を体験する」研修として、7月から12月の期間、18人の研修生を受け入れる。
結果	7/4～12/7までの期間に、18人の研修生を受け入れた。NPOの活動を体験した研修生の感想では、「研修や実習に参加している方々はもとよりNPO法人の職員の方々もアレルギー児童を抱える一人の親であったり立場は同じであり、共通していえるのは何とかしてアレルギーを少しでも改善(体質や症状のみでなく世の中の風潮も含めて)しようという本気の取組現場に立ち会えたことは非常に刺激になった。」「業務の進め方や、直面している課題の解決法等については、行政においても取り入れていける部分があると感じることができた。」「5日間、当事者・関係者の「生の声を聞く」ことで、改めて、行政は、世間の人々の「思い」に答えられているかを問いかけるきっかけとなった。」などがあげられた。

Ⅲ. 会議の開催に関する事項

1. 総会

(1) 通常総会

ア) 開催日時及び場所 平成 28 年 5 月 29 日(日) 13:00-14:30 イーブルなごや(女性会館)

- イ) 議題 (1) 第 1 号議案 2015 年度(H27) 事業報告(案) について (提案 中西)
(2) 第 2 号議案 2015 年度(H27) 収支決算報告(案) について (提案 鹿嶋)
(3) 第 3 号議案 会計監査報告について (報告 長谷川監事)
(4) 第 4 号議案 2016 年度(H28) 事業計画(案) について (提案 伊藤)
(5) 第 5 号議案 2016 年度(H28) 収支予算(案) について (提案 鹿嶋)
(6) 第 6 号議案 役員の選任について (提案 中西)

2. 理事会

(1) 第一回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成 28 年 5 月 29 日(土) 14:30-15:30 イーブルなごや(女性会館)

- イ) 議題 (1) 理事長及び副理事長の選出と各種委員会の設置について
(2) 顧問の選任について
(3) 総務担当理事及び事務局の体制について

(2) 第二回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成 28 年 10 月 10 日(月・祝) 9:30-12:30 イーブルなごや(女性会館)

- イ) 議題 (1) 2016 年度(H28) 上半期事業報告および中間決算について
(2) 2016 年度(H28) 下半期事業計画・予算(案) について
(3) 審議・検討事項などについて
①第 13 期アレルギー大学 カリキュラムについて
②第 13 期アレルギー大学 教本の改訂作業の開始について
③寄付キャンペーンの取り組みについて
④熊本地震 支援金の使途について

(4) 今後の理事会開催計画

(3) 第三回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成 29 年 2 月 12 日(日) 9:30-12:30 中村生涯学習センター

- イ) 議題 (1) 2016 年度(H28) 事業報告(案) および 決算予測
(2) 2017 年度(H29) 事業計画(案)・予算(案)
(3) 審議・検討事項
①第 13 期アレルギー大学 カリキュラム について
②第 13 期アレルギー大学 教本の改訂作業の開始について
③患者会の支援について
④マイスター・サポーターの活躍の場の提供
⑤魚国総本社より顧問の依頼
⑥医療機関からの栄養士派遣料金と派遣栄養士の賃金 改訂について

(4) 第四回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成 29 年 5 月 21 日(日) 9:30-12:30

- イ) 議題 (1) 平成 28 年度 事業報告および決算について
(2) 平成 29 年度事業計画・予算(案) について
(3) 審議・検討事項などについて
(4) 今後の理事会開催計画